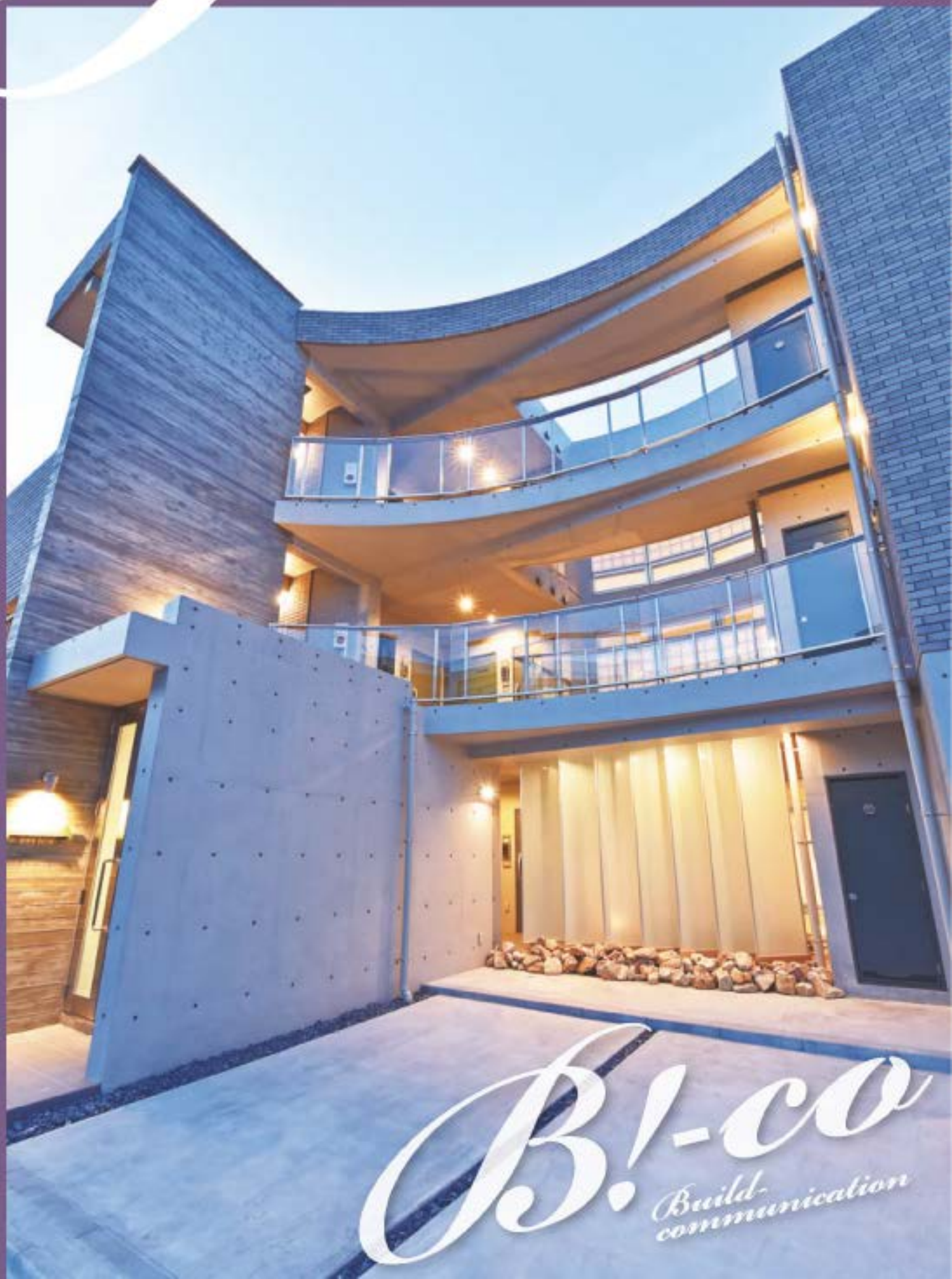


59

2018.07
Tokai-Build



B!-co
Build-communication



さくらFELICE <昭和区塩付通>

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド

2年ほど前、アメリカに行った。
 フランク・ロイド・ライトの住宅群とシカゴの摩天楼に刺激を受けて帰ってきたつもりだった。
 しかしこの建築を設計中、頭をよぎっていたのは上記の建築ではなかった。
 どちらかと言うと、意図して見に行った建築ではなく街の中で
 偶然出会った建築が今回の計画には影響している。(設計部・森)

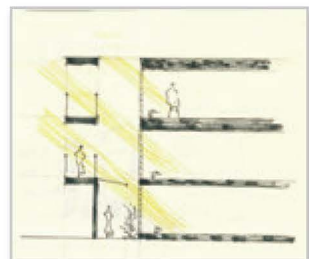


アメリカで見たモダニズム建築の華やかなりし頃のデザインが過る中での設計。
 この建築のオーナー様はそんなデザインをしっかり受け止めて下さった。

(撮影/設計部・森 シカゴ近辺にて)

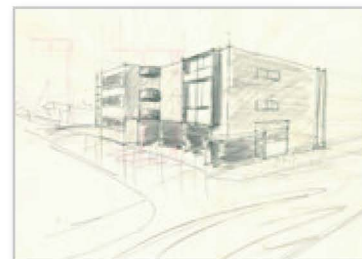
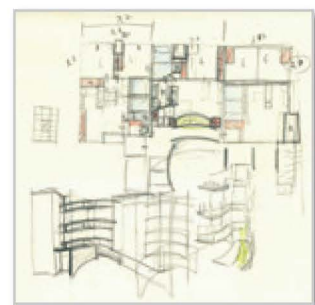
■ スケッチから

南側道路の敷地に共同住宅を設計する場合、セオリー通りに行けば北側廊下の南側居室。但し、南面に駐車場を取ると、建物内を抜けるか、どちらかの端から北廊下にアプローチせねばならない。南側で上下左右の動線を取れば敷地幅いっぱい賃貸面積を確保できる。そんな発想から敢えて「南側階段、廊下」の共同住宅に挑戦。



居室から離れた空中廊下で繋ぐことで居室に光を入れ込もうとする検討スケッチ。

中心に黄色の三日月型の吹き抜けと円弧の空中廊下が出現。この辺りはアメリカで見たモダニズム要素が影響していると、やってる本人は判るのだが、「この建築が影響した!」というものが思い当たらない。



こうして基本計画をまとめるためのスケッチを終えた。

■ 計画から着工まで



表層の材料や細部の変更、改善はあれど、基本スケッチをオーナー様にも尊重して頂いて、形態の変化はほとんど無く、最終案がまとまった。

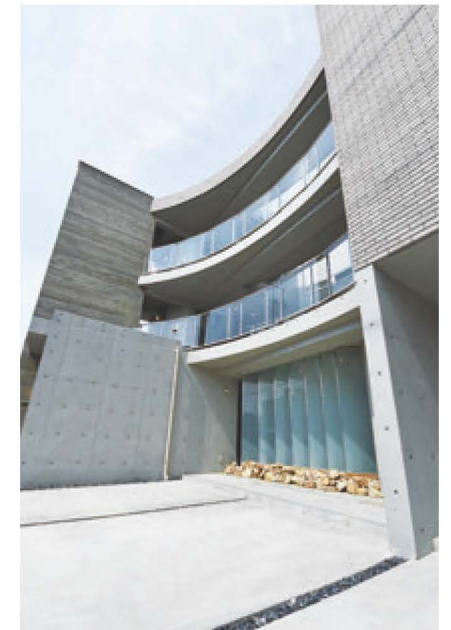


そして、既存家屋の解体。オーナー様が幼少期を過ごした家を解体する。鬼瓦だけを残して…。

■ 竣工



建物名は「さくらFELICE」(フェリーチェ)。フェリーチェとはイタリア語でHAPPY! 住む人みんな、幸せに暮らしてほしいというオーナー様の思いが詰まっている。計画スケッチからここまで変わらない印象を持ち続けて竣工した建物はあまりない。



空中廊下がデザインの主役。



要の吹き抜けにはあの鬼瓦が守り神として鎮座する。

東海・ビルドが掲げる「モダニズム建築の香り」。漂っているでしょうか? この感性に共鳴して、住んでいただける方々は必ずみえて、今後10年20年とこの建築が満室であり続けると信じてオーナー様との二人三脚で竣工した。



地鎮祭の日。どんな建築が出現するかとみんなでワクワクしたあの日も思い出です。(設計部・森)



吹き抜けを見下ろす。(写真左) 入居者は、こんな空間を毎日通って出入りする。



- 建物名 — さくらFELICE
- 所在地 — 名古屋市昭和区塩付通
- 構造 — 鉄筋コンクリート造3階建
- 面積 — 敷地面積/350.48㎡ (106.02坪)
 建築面積/239.98㎡ (72.59坪)
 延床面積/557.80㎡ (168.73坪)



■ 設計から着工、そして竣工へ



計画当初のスケッチ。「プランに軸がない」と設計所長に叱咤され、軸のあるプランはこうだと、1階は敷地南北にある道路と直行する形でまっすぐに、2階は真南を向かせるように斜めに振ったスケッチを描かれました。

そのスケッチが元になりマスタープランとしてスタートしました。その後、プランや模型でカタチを何度も検討し、着工へ。



鈴木接骨院 店舗併用住宅 〈緑区大高〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド



地盤検査



外観



◆ 診療時間 / AM8:30-AM12:00 PM3:30-PM7:00
 ◆ 休診日 / 木・日・祝日
 ◆ 所在地 / 名古屋市緑区大高南田112(JR大高駅南口)
 TEL.052-621-5135
 ◎ 構造 - 木造2階建

2017年10月に着工し、約半年、お施主様と東海・ビルドのTEAM-C.O.Aで打合せを重ね、ついに完成致しました。敷地南北の接道と台形の地型を最大限生かすべく変形の五角形の建物です。外部はシンプルながら目を引くデザインに、リビングも外部の形に追随し「く」の字型をしています。空間にも変化が生まれ広く感じます。毎度のことですが、完成お引き渡しの時はこれで最後かと思うと完成の喜び半分、センチメンタルな感じ半分、複雑な気持ちになります。今後のメンテナンスは品質管理部に引き継ぎ、しっかりと建物を管理させていただきます。品質管理部の皆さん、よろしくお願い致します!!(設計部/橋本)

■ お施主様とのストーリー

お施主様との出会いは8年ぐらいいままでに遡ります。同じ接骨院を営み、デイサービスを経営されている様から紹介して頂きました。(弊社で住宅・介護施設を建築させて頂きました。)

今回の計画は道路拡張計画により敷地建物が道路にかかるため、名古屋市との打合せもこの計画には欠かせないものでした。解体のタイミングも何年も検討され、建物建築中も仮設診療所で施術しながら竣工に至りました。お施主様は間取りを自分で書かれたり、住設についても何度もショールームに足を運んだり、本当に建物好きな方だと感心させられました。

開院当日も大変多くのお客様が施術を受けており、新しくなった接骨院が地域に根付き始めています。貴院のご発展を心からお祈りすると共に、今後も全力でご協力させていただきます。(営業部/丹羽)



2階の外部ブラインドがアクセント。

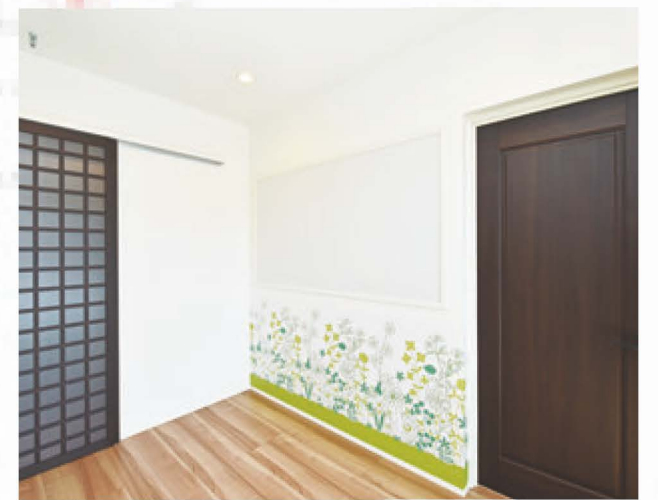
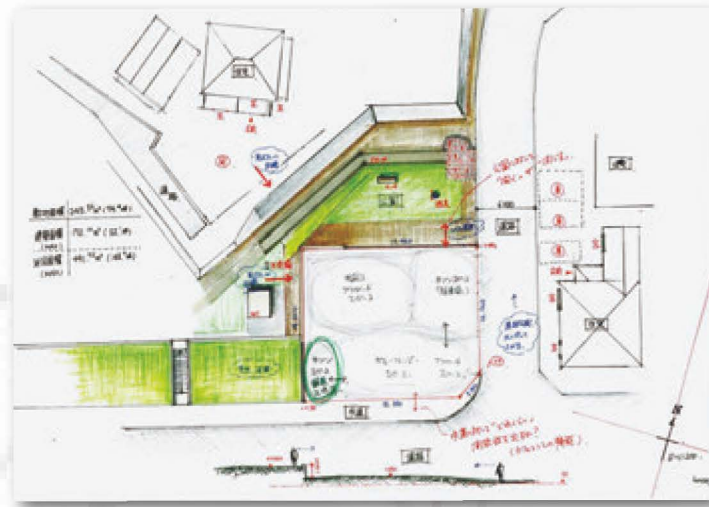


お施主様のこだわり、ホームシアター、そしてTOYOキッチン。

旭前の家 <尾張旭市>

設計:アーキビルド設計工房 施工:株式会社東海・ビルド

色々な「好き」を一つの建物に詰め込んだら…
そんなご要望を元にスタートしたプロジェクト。
家族構成も長女様ご家族と次女様が一緒にお住まいになる
とても「家族愛」の強い施主様。
打合せはご両親も必ず同席し、皆でワイワイ楽しく進みました。



- 建物名 — 旭前の家
- 所在地 — 尾張旭市
- 構造 — 1階鉄筋コンクリート造
2,3階木造
- 面積 — 敷地面積/
245.86㎡(74.37坪)
建築面積/
98.51㎡(29.80坪)
延床面積/
284.86㎡(86.18坪)

ある日の打合せ中、お施主様のお母様より一言、「不協和音の調和が良い!」…深い…建築はどうしても全体を調和させたり、バランス良くまとめたりしがち。
しかし、自分が気に入った材料や好きな色などを好きな場所に大胆に採用する事で結果、調和する。
形式ばった考え方や固定概念をとっばらい、自分の「好き」に素直になる。
住宅建築の際に一番重要な事かもしれません。

構造は1階をコンクリート、2,3階を木造とした「混構造」。杉板型枠の打放し壁やタイル張りの塀。ジョリパットによる円弧壁など色々な「好き」を凹凸を付けながら積み上げた。
内部についても1階に広々とした「多目的リビング」を配置し、そのリビングと一体利用できる「和室」。「白い」リビングから見える「グリーン」の和室が不思議と調和した空間構成。

第16回 建築見学ツアー 建築を体験しよう! IN 御殿場のご報告

今回は東海四県の端、御殿場まで行って参りました。
過去最長距離の移動となりましたが高速道路もすいており、距離を感じさせない程スムーズで、
なんとか天候に恵まれ、新緑の中とても気持ちの良いツアーとなりました。移動中のバスから富士山も見えましたよ!!



いつもご参加頂き
ありがとうございます。
今回は39名の方に
参加して頂きました。



1 富士山世界遺産センター

世界文化遺産に登録された「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていく為の拠点施設です。設計は坂茂氏。富士山への「畏敬」をコンセプトに設計されています。逆富士型の展示室は地元材の富士ヒノキの木組みで覆われています。
内部はスロープ状になっており、スロープを登る疑似登山体験を通じ映像に映し出された富士山の歴史、文化、自然を学ぶことが出来ます。



内部のスロープと学習映像。



晴れていれば富士山が真正面に見えたようですが、そんなこと気にしません! 楽しみました!



はいチーズ!

2 タンタローバデル ミュゼオ御殿場

富士山の麓に位置する、緑に囲まれたレストランで昼食を頂きました。
厳選した四季折々の食材、地元の野菜、肉、魚を使って作るイタリア料理のお店です。



筆エビのパスタが絶品!



ビールグラスも富士山の型!



こちらの建物は内外ともにコンクリート打ち。武骨な装が直感好きにはたまりません。

3 東山旧岸邸

「昭和の妖怪」と呼ばれたかつての首相、岸信介氏が73歳の時に建てた自邸。
伝統的な数寄屋建築の美と現代的な住まいの機能の両立を目指した邸宅です。
「数寄屋」と「現代的」というキーワードを聞いたらピンと来た方もみえるはず!
以前の京都建築ツアーで訪れた北村美術館-四君子苑-と同じ設計者の言田五十八氏です。



この建物は言田五十八氏の晩年の作品であり、氏の建築美学の到達点の一つと言えます。



ガイドの方が丁寧に案内して下さいました。岸信介氏のことや建築のことなど、聞けても聞けないうるほど、人物、建物を愛している方でした。



お茶室の風景。よく見ると障子が障子だけで納まっています。すっきりした作りです。高級しんしの丸太で上から吊り下ろしてあります。発煙や施工力に感謝。50年前の建物ですよ、これ!



ダイニングから庭の眺め。



季節の門をくぐり美しいアプローチを辿ると旧岸邸は姿を現します。



岸氏の定座にはA座が素敵に、



この方達はどこでも楽しそう。

4 とらや工房

旧岸邸と庭園を囲んで位置する和菓子の「とらや」工房。
設計は内藤廣氏。森をしっかりと受け止めるように緩く肌を描く独特の形をしています。



曲線の美の映り込むガラス張りの扉裏、開放感のあるテラス席は、やはりある心地よい空間になっています。炭黒の漆喰と無垢の木組みが美しくカーブを描く建体と周囲の緑がうまく調和しています。



皆さま、この度も建築ツアーにご参加頂き、
ありがとうございました。
次回のツアーもお楽しみに!

東京研修

8月中旬に東京研修を行いました。毎回恒例ではありますが、盛り沢山の濃い二日間となりました。内容は…
 ■東京ビッグサイトにて開催されている「賃貸住宅フェア2018」 ※100講座のセミナーと350超のブースが出演
 ■六本木ヒルズ・森美術館15周年記念展の「建築の日本展」
 ■天王洲アイルにある建築倉庫ミュージアム「ル・コルビュジエ展」から、銀座建築巡りと三田&芝浦建築巡りへ



建築の日本展



賃貸住宅フェア



GINZA SIX



磯崎ビル(アリアストンビル)

多くの賃貸住宅 最新情報と、展覧会と建物から刺激を受け帰名しました。
 今後の東海・ビルドの建物にどのように活かされていくか…乞うご期待ください!

北海道研修



真駒内滝野霊園にて記念撮影



真駒内滝野霊園の釈迦仏

7月には北海道へ研修に行きました。
 安藤忠雄の真駒内滝野霊園 釈迦仏殿をはじめ、様々な有名建築と北海道の美味しい料理を堪能してきました!



レストランピレ



ニドム石影の教会



モエレ沼公園のガラスのピラミッド

ビルド通信



第18回 安全協力会総会

5月30日(水)
 今年も「スカイワードあさひ」にて、安全協力会総会を開催致しました。
 60社程の協力業者様に参加して頂き、安全パトロールの実施報告、今年度の重点項目を発表しました。
 重点項目として、墜落・転落災害防止とし、より安全な現場づくりを目指していきます。

今年も講師に来て頂きました。講師では、「現場のための安全コミュニケーション」という内容のお話しをして頂きました。
 他者とのよりよい人間関係を構築する為のコミュニケーション方法を教えて頂き、非常にためになる内容でした。

建設現場において何よりも大切な安全というものを守るために、協力業者の皆様と一歩同結し、より安全な現場づくりに努めてまいります。

東海・ビルドが提案するデザイナーズ賃貸マンション 完成実例見学会のご案内

長久手市の静かな住宅街にて賃貸マンションを建築中です。
 オーナー様は今回の建替えにあたり、「入居者様が快適に生活ができる住まいを作りたい」というお気持ちを強くお持ちでした。
 構造は耐震性の高い鉄筋コンクリートにこだわり、その上で採光・通風等の自然に対する配慮と女性目線での導線も優しい設計です。
 オーナー様は設計担当者、井上の学生時代の恩師でもあります。
 当プロジェクトの奮闘記は当社ブログにて好評公開中です。
 是非ご覧下さい。



(仮)長久手フラッツ

長久手市官塚1508

鉄筋コンクリート構造3階建/計8戸
 1LDK2戸、2LDK4戸、3LDK2戸

11/23(fri)~25(sun) 10:00~17:00



2019年春、名古屋市各所で賃貸マンション見学会開催予定!
 ドッグ共生型マンション・店舗併用マンション・コンクリート打ち放しマンション等、ご期待下さい!!

新入社員紹介

初めまして。

4月から入社しました工事部の坂口です。

小学校から大学まで15年間器械体操をやってきましたので、体力と継続力にはとことん自信があります。

現場でバリバリ体を動かして粘り強く頑張ります。

まだまだ分からないことばかりですが、しっかりと上司や職人の方々に教えて頂き、一日一日を大切に、早く一人前の現場監督になれるよう頑張ります。

工事部
坂口 宣嗣



初めまして。

5月から東海・ビルドに入社しました設計部の中澤です。

三年間建築専門学校で知識や技術を学んだ後、前職ではハウスメーカーで木造の建築設計をしていました。

木造だけではなくコンクリートや鉄骨の建築物にも携わりたいという想いが日に日に強くなり、東海・ビルドに入社致しました。

まだまだ坐らないところばかりですが、精一杯努めていきます。

今後とも、宜しくお願い致します。

設計部
中澤 孝将



こんにちは、BI-co編集部です。

暑さが日増しに強くなってきた今日この頃、皆様はいかががお過ごしでしょうか、この原稿を書き上げている最中、四年に一度のワールドカップサッカーが行われています。

西野ジャパンの勝敗が気になります。ベテランと若手の融合はどうか。

皆様のお手元にBI-coが届くころには、結果は出ていますね。

地元中日ドラゴンズも松坂フィーバーで湧きあがっていますが、後は結果が繋がればと感じます。

今回のBI-coの内容も設計・営業・工事部との融合により、形となったものばかりです。

今後の東海・ビルドの活動をBI-coから感じ取って頂ければと思います。

暑い日が続きますが熱中症対策をとり、ひと夏を乗り切りましょう。

TOKAI-BUILD NEWS 「BI-co」編集部

株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市中東区猪子石原一丁目1307番地

☎052-772-9100 (代)



<http://www.tokai-build.com>
E-mail eigy@tokai-build.com
blog.tokai-build.blog.ocn.ne.jp

東海・ビルド 検索